

東通原子力発電所 敷地内断層の活動性等の評価に係る追加地質調査の概要

1. 調査目的・調査概要

これまでの評価結果について、更なる説明性の向上を図るため、以下のとおり追加調査を実施する。

- 調査位置 東通原子力発電所敷地内およびその周辺
- 調査期間 平成24年7月～平成24年11月（予定）
- 調査内容 トレンチ調査（3箇所）、物理探査（反射法地震探査および地中レーダー探査）（2測線）、ボーリング調査（2箇所）

目的	調査内容	調査箇所	検討内容	工 程						
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	
				準備						まとめ
F-3断層近傍の斜面地形のデータ拡充	トレンチ調査	①	・斜面地形の範囲で、断層の有無および活動性を確認 ・F-3断層の位置および第四系の状況の確認		掘削			観察・分析		
小断層s-19の地下深部への連続性確認	物理探査 (反射法地震探査および地中レーダー探査)	A測線	・小断層s-19の地下深部への連続性の有無を確認 ・小断層s-19を含む敷地横断方向での地質構造(主要な断層の地下深部への連続性)を確認		地中レーダー	反射法		解析		解釈
	ボーリング調査	②	・物理探査結果の補足・検証として、泊層の地質構造の確認		ボーリング		コア観察・解析			
		③			ボーリング		コア観察・解析			
	トレンチ調査	④	・物理探査結果の補足・検証として、F-3断層とF-9断層の間の蒲野沢層の地質構造および第四系の状況の確認		掘削			観察・分析		
小断層s-19と同様の性状にあることから、小断層s-14の地下深部への連続性および性状の確認	物理探査 (反射法地震探査および地中レーダー探査)	B測線	・小断層s-14の地下深部への連続性の有無を確認 ・小断層s-14を含む敷地横断方向での地質構造(主要な断層の地下深部への連続性)を確認		地中レーダー	反射法		解析		解釈
	トレンチ調査	⑤	・小断層s-14の性状を再確認		掘削			観察・分析		

※調査内容、工程については、調査の状況に応じて変更される場合があります。

## 2. 調査箇所

